

JOC ジュニアオリンピックカップ大会
第 26 回 全日本ジュニアナインボール選手権大会
募集要項

日 時 令和 8 年 4 月 5 日 (日曜日)

9 時 30 分 集合 10 時 開始

会 場 ビリヤード Zeke (神奈川センター南)

横浜市都筑区茅ヶ崎南 4-1-33 アーバンワイド 21 3F

出場資格 2008 年 1 月 1 日以降の生まれで日本国籍。有効期限の付与された CS 登録が必須。年会費免除に係る CS ジュニア会員登録の年齢基準とは異なりますのでご注意ください。予選に参加させる時点で証憑確認を各支部にお願いします。CS 登録済選手の年齢は、健康保険証や学生証の証憑で、本部が確認済です。

本大会の年齢制限は、国際基準 (WPA ジュニア世界選手権 U19 カテゴリー) の規定に基づき、「世界選手権が開催される暦年 (2026 年) に 19 歳の誕生日を迎える選手は出場できません」。WPA および ACBS では暦年基準での年齢判定が採用されているため、本大会でも同基準に合わせ、2008 年 1 月 1 日以降に生まれた選手を対象としています。

(国内の年度区切り・普及制度上の CS ジュニア基準とは別の国際基準です。)

各地区出場枠割りあて

北海道	東北	全関東	静岡	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1

以上の 14 名に、シード<前年度大会上位 1 名、主管地：本来の 1 名枠に加え、各地区に欠員が生じた場合は主管地がその欠員総数を補充する>

上位 1 名につき、前回優勝者に本年度の出場資格が無い場合は、4 位まで順次繰り下げる。

⇒ 本年度シード：新免 和真

締 切 令和 8 年 3 月 8 日 (日) までに必着

各支部取り纏めのうえ、エントリーフォームあるいはファックス等で提出。選手個人からのエントリーは不可。ファックス等による提出様式は任意 《記載必須事項：CS 番号・氏名・生年月日・住所・学校名・保護者同伴の有無・本人及び保護者の連絡先(緊急時の連絡が可能な携帯番号またはメールアドレス)》

※ 全地区、予選結果を添えて、エントリーフォームあるいはファックス等でご提出ください。

※ 諸事情でエントリーを見合わせる支部も、大会準備の都合上、早めにその旨ご報告ください。

ファックス⇒コモルーム宛：0466-23-5690

エントリーフォーム： https://kba-info.com/?page_id=173219

試合方法 予選 / 4 名リーグ×4 組 5 ゲーム先取

各組上位 2 名決定戦進出

決定戦 / 8 名シングルトーナメント

6 ゲーム先取 プッシュアウトスリーポイントランダムラック採用

NBA ルール準拠・試合方法その他は変更の可能性有り

エントリーフォーム



出 場 費 1万円（当日集金）

服 裝 男子はネクタイ着用。女子はこれに準ずる。

特 典 以下の通り。

- ・最優秀選手に JOC ジュニアオリンピックカップを授与
 - ・上位入賞者に JOC 公認による賞状を授与
 - ・着順に基づき、世界ジュニアナインボール選手権大会（または前哨戦となるアジアジュニアナインボール選手権大会）の日本代表派遣権限を付与。※主催本部からの補足事項を必読のこと
- *1：女子代表選考については併催するガールズの部を材料とした基準を別途に補足設定します。
*2：従来の JOC オリンピック有望選手認定制度は令和 4 年度より廃止されました。

<ジュニア CS 会員（年会費免除）について>

本大会は、地区予選が実施される前提で運営されます。地区予選にエントリーする段階で、当該選手がその年度の CS 登録（年会費）が支払い済みであることが参加要件となります。

なお、3月31日時点で満18歳以下の選手は「ジュニア CS 会員」として登録可能であり、年会費が免除されます。

エントリー前に必ず CS 登録状況をご確認いただき、不要な年会費の誤納が生じないよう各ご家庭および地区支部でご留意ください。

詳細は日本ビリヤード協会公式サイトをご確認ください。

※ ジュニア CS 会員の年齢基準は普及を目的とした制度であり、本大会の出場年齢基準（国際基準に基づく U19=18歳以下）とは別制度です。

主催 公益社団法人日本ビリヤード協会

後援 公益財団法人日本オリンピック委員会

主管 日本ビリヤード協会 神奈川支部 神奈川県ビリヤード協会

第26回全日本ジュニアインボール選手権大会について

締切後に選手交替の必要が生じた場合は3月15日(日)16時までにご連絡ください。

参加人数による試合方式調整に伴う欠員補充など、出場者の選定に関する事項は主管に一任します。

※ 主管地は本来の1名枠に加えて、欠員が生じた場合はその欠員総数を補充します。

交通費補助

単位：万円 (1人あたり)

北海道	東北	関東	静岡	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
4	3	応相談	1	2	3	2.5	3.5	4	4.5	5

印鑑を持参させてください。選手個人を対象に、エントリーフィーと相殺した額を支給します。

宿泊、エントリーフィーは選手負担となります。

- ※ 選手負担を軽減させるべく、支部単位で、可能な限りの交通費以外の援助をお願いします。
- ※ 補助金支給は大会開催日4/5の居住地で判断します。(例:沖縄代表が東京転居した場合には補助金無し。逆に、関東代表が大阪に進学した場合は関西として扱います。) あくまでも交通費実費に対する補助です。おこづかいではない事を理解させて下さい。
- ※ 初出場選手については顔写真をお送りください。事前に把握させて頂くことで運営がはかどります。
- ※ 表彰式まで全員残ることが原則です。交通費の補助金は表彰式の後で渡します。終電など帰路交通便の都合は考慮しますが、この原則を前提に、飛行機便の予約などにあたらせてください。

派遣と選考基準について　※ 添付した主催本部からの補足事項もお読みください

各国統括組織(NF)は、加盟する大陸統括組織(CF)を経由して国際統括組織(IF)に所属する仕組みです。アジア大陸のCFはACBS(Asian Confederation of Billiard Sports)ですが、WPAとACBSによる2026年の大会開催スケジュールが未公表のため、例年通り8月から12月にかけて下記カテゴリーが実施される前提に立って、現時点での2026年国際大会派遣方針を以下の通りとします。

・世界選手権 … U19-Boys・U17-Boys・U19-Girls 　・アジア選手権 … U19-Boys・U19-Girls

- ① 世界選手権には、原則、男女1名ずつ、本大会(及び併設の予備選考会)の結果に基づいて同時派遣する。
- ② アジア選手権には、原則、男女2名ずつ、本大会(及び併設の予備選考会)の結果に基づいて同時派遣する。
- ③ 先にアジア選手権が開催され、かつ、開催後に世界選手権の派遣手続きが余裕をもって可能となる日程である場合は、上記①の世界選手権派遣方針をアジア選手権での結果を優先する選考基準に改めて、これをアジア選手権派遣前の適時に公表する場合がある。
- ④ その他、情勢や状況に応じて、上記に拠らず臨機応変に対応させて頂く場合がある。

女子派遣予備選考会「ガールズの部」募集について

※ 女子選手の派遣選考は男女混合本戦4位迄の入賞者を最優先しますが、本戦への出場が叶わなかった地区予選出場者も対象に加えた予備選考会を前日4/4に開催して、その結果をこれに続く選考材料とします。また、参加状況と全体のレベルを事前に把握した上で、予備選考会に替えるか追加するかたちで技術審査を実施する場合があります。目安として、最低でもボーラード100点が必要になるとご認識ください。

出場資格：① 本大会の地区予選に出場し、日本代表としての派遣に値する実力または可能性、および適性を管轄地方支部が保障すること。② 2008年1月1日以降の生まれで日本国籍を有すること。

開催日：4月4日(土) ※会場・時間・フォーマット等は募集打ち切り後、各選手に連絡する予定です。

エントリー：地方支部経由でのみ受けます。受付期限は本戦締切日より後の設定となる予定ですが、本戦締切日には少なくとも見込みをご提出ください。地区予選の開催が無かった場合は、管轄地方支部の要請により主催・主管が出場可否を判断します。地方支部から主管にお問合せください。

さらに補充すべき内容が生じた場合は、追って発出します。※主催本部からの補足事項を必読のこと。

日本代表ジュニア選手の海外派遣について

◇ 海外派遣代表選手の選考方針

全日本ジュニアナインボール選手権は ACBS アジア選手権・WPA 世界選手権への国別枠代表選手の派遣選考を兼ねます。本大会と併設大会ガールズの部の結果に基づき海外派遣優先順位を定め、派遣選手を決定しますが、近年の状況として、両国際大会ともに、各国に割り当てる選手受け入れ枠の設定が流動的で、少なくとも現段階では 2026 年に於ける開催スケジュールや開催内容の詳細が公表されていません。特に、アジア選手権については、開催国が見つからない為、開催が見送られる状況が続いています。

このような状況下ですが、日本ビリヤード協会は基本方針を以下の通りとして、海外派遣に備えます。

従来通り、アジア選手権(U19-Boys・U19-Girls)と世界選手権(U19-Boys・U17-Boys・U19-Girls)が、それぞれ括弧内のカテゴリーを設定して 8 月から 12 月の間に実施されることを前提とし、

- ・8月 9月の開催が予測されるアジア選手権に、男子 2 名と女子 2 名 (派遣助成あり)。
- ・10月 11月の開催が予測される世界選手権に、男子 1 名と女子 1 名 (派遣助成あり)。

※ 上記人数の派遣が上位国際組織から確実に保証されている訳ではありません。各国からのエントリー状況により、日本選手の受け入れ枠に制約が加わり、この方針通りの派遣が叶わない結果となる場合があります。

※ 世界選手権への男子派遣は、U19 と U17 の 2 部門のうち派遣対象となった選手が該当する部門への 1 名のみです。但し、この 1 名の受け入れが確定し、なおかつ、残された部門に受け入れ枠再配分による募集要請があった場合、派遣選考対象内で優先順位を有する後続の選手 1 名まで、原則として自己負担となりますが、参加希望を打診させて頂く場合があります。この際、仮に女子 1 名の派遣が叶わず男子 2 名の派遣となった場合でも、追加となった男子 1 名に対する助成支援は行わない原則です。ご承知おきください。

※ アジア選手権は、受け入れ枠再配分による 3 人目の募集要請があった場合に限り、男女それぞれ、派遣優先順位を有する後続の 1 名に、自己負担での参加希望を打診させて頂く場合があります。

※ 公金補助が縮小傾向にあり、従来からのジュニア選手派遣の全額助成支援の維持が困難となっております。2026 年から、大会開催期間の前後に派生する宿泊費と渡航費については 15%程度の自己負担をお願いする可能性があります。ご理解とご承知おきをお願いいたします。

※ その他、状況に応じて、上述の方針に沿わない変更をせざるを得ない場合もあります。

アジア選手権の結果を世界選手権の派遣手続きに反映できる時間的余裕がある場合には、後述する世界選手権の派遣優先順位に関する取り決めを、その結果を考慮に入れた内容に変更する用意があります。その場合は、アジア選手権派遣を実施する前に、変更した内容を発表させて頂きます。

世界選手権については国別代表枠とは別に WPA 特別枠が設けられており、本選考会による選抜とは関わりなく、各国協会を経由せず大会スポンサーを通じて選手が参加できる制度があります。各国の協会組織はこの枠への選手選出に関与できない建付けとなっていることをご承知おきください。

他の注意事項として、派遣対象となる可能性を得た選手は、補欠を含め、パスポート取得などの渡航要件が派遣手続きに入る段階で確保されているよう、各自で準備を整えてください。

◇ 男子の派遣優先順位について (2026 年)

本大会上位 4 人から女子入賞者を除いた着順と同じです。アジア選手権の追加募集や世界選手権 U17・U19 の両方に出場できる機会への備えとして、本大会内に 5・6 位決定戦を追加し、男女混合で 6 位以内に入った男子を派遣選考対象内として順位付けします。それでも、派遣選考対象内に U17・U19 いずれかに該当する選手を見出せない場合、そのカテゴリーについては前述した世界選手権への参加希望打診をいたしません。

◇ ガールズの部（女子派遣予備選考会）について

・ガールズの部の位置づけ

女子の派遣選手選考優先順位は、男女混合で実施される本戦4位までの入賞者を最優先しますが、ここで該当する女子選手が揃えられない場合に備える必要があり、本戦出場枠から漏れた地区予選出場選手にも海外に挑戦する機会を提供すべく、派遣選手選考の為の予備大会を併催します。

・出場資格について

以下の全てを満たすことが必要です。

1. 本大会の地区予選に出場していること。

地区予選が開催された地区は、管轄地方支部の要請により、主催・主管が出場可否を判断します。

2. 日本代表としての派遣に値する実力または可能性、および適性を管轄地方支部が保障すること。

3. 2008年1月1日以降の生まれで日本国籍を有すること。

・予備選考会の実施形態について（2026年）

開催日：4月4日（土） 集合開始時刻：未定 開催会場：ビリヤード パラたま（予定）

エントリーフリー：未定 ドレスコード：常識の範囲内で自由。本戦と別設定である点に注意。

選考会形式（予定）：9ボールリーグ戦＜原則として、競技ルールは本戦に準拠＞ セット数：未定

※ 未定事項は、諸事項の確認を含め、締め切り後に主管から選手に直接連絡する予定です。

・エントリー受付

地区予選終了後に、地方支部を通して主管が受け付けます。選手個人からのエントリーは受け付けません。必ず地方支部を通して下さい。受付期限は本戦締切日より後となりますが未定です。但し、出場検討中の状態であっても、本戦締切日には地方支部から主管にその旨の連絡が届くよう、ご配慮ください。

◇ 女子の派遣優先順位について（2026年）

以下の通りとします。該当者がいない場合は順次繰り下げ、原則として4人までを派遣選考対象内として優先順位を定めます。結果的には派遣選考対象内とする人数が4人に満たなくなることもあります。

1. 優先順位1～4位 ⇒ 本戦に於ける1～4位の着順に同じ。

2. 優先順位5位以下 ⇒ 上記1の該当者を除き、ガールズの部での着順に同じ。

3. 以下、ガールズの部に出場せず本戦に出場した選手がいる場合は、その選手の本戦での5位以降の着順を適用します。着順の判断は直接対戦での結果を最優先し、直接対決による判断が不可能な場合は本戦会場に於いて対戦を適宜に追加します。但し、派遣に備えた対象者数が1と2の段階で確保されていると判断した場合、この対戦を実施しません。

4. 2や3の該当者の全員あるいは一部については、技術面でクリアすべき派遣選考基準を別に設け、技術審査を実施する場合があります。目安として、最低でもボーラード100点が必要と認識して頂いて、各自で日頃の備えをしてください。

弊会が実施する主要国際大会へのジュニア選手派遣は、（公益財団法人）日本オリンピック委員会による指導の下、（独立行政法人）日本スポーツ振興センターからの公的助成（競技力向上事業助成金）支援を頂くことで実現しています。